

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

# はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

## 新春のつどい

各地で新春のつどいが賑々しく開催される。



## 初夢やんばるシンポジウム

1月13日(土)名護市のホテル「ゆがふいんおきなわ」にて「2018初夢やんばるシンポジウム」が開催されました。オープニングセレモニーでは職員による歌で始まり、前県立中部病院院長の平安山英盛先生(現沖縄療育園園長)による基調講演では、自分の生い立ちから医師を目指した経歴を紹介し、現在は自分の生まれ故郷である名護市を守る立場に立った経緯についてお話ししていただきました。先生の講演はユーモアを交えたもので時には笑いもありました。



基調講演後のシンポジウムでは、平安山先生をはじめ、名桜大学生、住民の会会長、北部ブロック理事4名がそれぞれの立場から活発な意見を述べていました。

用度課 大城真也

## バイク駐輪場の案内版を設置しました

以前よりバイク駐輪場の場所がわかりにくいのご意見を頂いておりましたが、この度、案内用の看板を設置しました。これによりバイク駐輪場の場所がわかりやすくなり、停めやすくなりました。



## 病院の活動状況 <2017年12月度>

- ・ 外来一日平均患者数：475 (前年同月比 +1人)
- ・ 入院一日平均患者数：302 (前年同月比 +8人)
- ・ 組合員利用率：55.5% (前年同月比 +1.1%)

## 健康長寿はお口から

いさぎ

137 リハビリテーション科より



健康長寿のための三つのポイント  
 ① 栄養を取るための口の機能(口腔機能)を低下させない(オーラルフレイル予防)  
 ② 運動、身体活動  
 ③ 社会参加、余暇活動、ボランティア等です。その中の栄養、口腔機能についてお話しします。口腔機能が虚弱になることをオーラルフレイルといい、オーラルフレイルが発端となつて心身の虚弱の状態を招くことがあります。オーラルフレイルにならないようにするには、口腔機能を保つことと口腔機能の軽度な衰えに早く気づく事がとても大切です。又、衰えたと思ったら早期に改善対策を行つていくことが予防につながります。若い時期から定期的な歯科検診と必要な治療を行い、歯の喪失を防ぎ、補う事が重要です。噛む事、飲み込む事は全身状態にも影響します。噛む事、飲み込む事は全身状態にも影響します。というのも口腔機能が低下し、うまく噛めない食品が増えるると十分な栄養が取れなくなる事があります。また、滑舌が悪くなつたり、話にくくなるなどの理由で人との交流が少なくなつたり、家に閉じこもりがちになり、活動量が減ります。その結果食欲が減り食事の量が減ると負のスパイラルに陥りやすくなります。特に高齢の方ではその危険性が高くなります。噛める状態を保っているか、噛み砕く力があるか、むせずに飲み込む力があるか等が重要です。歯を失わない事、失ったとしても入れ歯を入れ、噛む力や飲み込む力を保つ事が大切です。「パタカラ体操」も効果的で「パ」「タ」「カ」「ラ」を大きくはつきり言う事、口の周り、舌、肩、首等を良く動かす事も効果があります。毎日できる事を続け、定期的な歯科検診などでオーラルフレイルを予防し高齢になつても健康で元気に過ごしましょう。

リハビリ室 歯科衛生士 仲程尚子



花  
冷  
え

画・内科医 上原 和博



<ご意見・ご要望>

紙おむつ院内購入についてお尋ねします。

11月19日(日)変形性股関節症の手術を受け4~5日紙おむつのお世話になりました。11月23日からは自分の下着に履き替えた為、引き取りをお願いしましたが、なかなか持って行ってもらえません。再度お願いしたところ「おむつは引き取れないことになっている。」と言われ、今だ棚に入っています。入院時にいただいた資料「紙おむつ」院内購入のおすすめのご案内を読んでも返品出来ない旨の記載がないので理解できずにいます。私だけでなく同じ様な疑問をもちつつ諦めたりしているかも知れないとの思いで、今回質問させていただきました。宜しくお願い致します。

<ご返事>

入院、手術時の紙おむつ購入に関して、事前の説明が足りず申し訳ありませんでした。

基本的には一度患者さんへ配布したものは私物となるため、返品は受けておりませんでした。今回のご意見を受けて検討した結果、不要なおむつは当院で引き取り、処理することといたしました。また、おむつ院内購入の同意書へ説明文を追加すると共に配布の際は適正量を考慮することを担当者で話し合いました。

今後ともお気づきの点はご意見いただければ幸いです。今回は貴重なご意見ありがとうございました。

師長室 玉城淳子

皮膚科外来体制表

※2018年3月から外来体制が変更になります。

山城栄津子医師の外来が水曜日午後から金曜日午後に代わります。

	月	火	水	木	金	土
午前	一診	新井真佐子		崎枝 薫	新井真佐子	
	二診	崎枝 薫				
午後	一診		崎枝 薫		崎枝 薫	
	二診				山城栄津子	

《診療開始時間・受付終了時間》

午前：9:00～11:00

午後：2:00～4:00

※受付順に診察を行います。

※急を要する患者様は、看護師が診療順番の調整をおこないます。



問い合わせ先 病院代表 TEL 098-853-1200

第13回  
那覇美らさくらまつり

とき 2018年2月 10日(土) 11日(日)

ところ 漫湖公園古波蔵側中央噴水広場



ハルサー  
だより®

トマト初出荷

トマト栽培も一月二日にやっと初出荷にこぎつけた。定植から七十日目だ。トマトは開花してからの積算温度(平均温度の積算)が約一〇〇〇℃で熟すると言われる。半信半疑ながら積算してみると一〇〇四℃で色づいてきた。すい。夏は早く熟し、冬は遅いのも納得だ。

トマトは十月に苗を植えると一月から収穫が始まり五月まで続く。五月月もの間、花を咲かせては実を付けるのを繰り返すのである。殆どの植物、例えばマンゴーは二月までに葉を茂らせて栄養を溜め(栄養生長)、三月に花を咲かせ実を付け(生殖生長)七月に収穫する。葉の生長の時期と実の生長の時期がはっきりしているのが肥料の種類も与える時期も決まってくる。しかし、トマトは栄養生長と生殖生長を繰り返すのでトマトの木を見てどの生長が滞っているのか即座に判断して肥料を与えないといけない。肥料を間違っていると花が咲かなかったりする。トマト栽培は、肥料の正確な選択と病気の早期発見にかかっている。

さて、米軍ヘリの窓落下事故が起きたばかりの普天間の小学校上空を米軍ヘリ三機が編隊飛行した。防衛局の監視員が目視し、同様に設置したカメラで確認している。にもかかわらず、海兵隊はレーダーの航跡や操縦士の証言から小学校上空の飛行を否定した。否定の根拠を示せなければ、県民をばかにしているか、沖縄の上空を飛んでいる米軍機はでたらめなレーダーを使用し方向音痴な操縦士が操縦しているということがあるのか。

何度同じことを繰り返そうというのか。同じことを繰り返して喜ばれるのはトマトだけにしてほしい。

ハルサー 金城稲子